箕面東高等学校令和4年度第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立箕面東高等学校
校長名	佐藤 誠治

開催日時	令和4年7月6日(水) 14:00 ~ 14:30
開催場所	箕面東高等学校 校長室
出席者(委員)	伊東委員・篠崎委員・橋本委員・須貝委員・土手委員
出席者(学校)	佐藤校長・川上教頭・末永教頭・室田首席・山田首席・矢野進路指導部長・太田教諭
傍聴者	
協議資料	令和4年度学校経営計画・令和5年度使用教科用図書選定理由書
備考	

【報告事項】

〇・・・委員の方の発言

1. 箕面東高校の状況

- ・各学年主任より聞きとった内容を報告(校長)

2. 令和3年度の進路実績について(進路指導部長)

近年の進路傾向

- ・就職希望者増
- ・大学…一般選抜は受かりにくいので、AO入試などで決める生徒が多い
- ・今年度…就職希望者が多い。進路に関する授業、社会で頑張っている人の講演等を行いながら、生徒の進路選択を支援していく

〇成城高校でも同じ状況(就職希望者増)と聞いている

【協議事項】

1. 令和4年度・学校経営計画について(校長)

昨年度との変更点

- ・ICT機器について
 - 今年度より使用、徐々に使用している教員増
- ・社会資源の活用
 - 本物に触れる授業実施→キャリア教育の充実(18万ほど)48時間
- ・資格試験の受験実施
 - 英検、漢検、情報処理検定→9月より
 - 取得を通して、生徒の自己肯定感

- ・外部連携による生徒支援
- ・広報活動 オープンスクールの充実
→全教職員で訳 60 校を訪問、パンフレット配布

○パンフレットに「最終、この活動が、ここが何に繋がりますよ」というものがあると、イメージしやすくなるのでは？ 先のもの（学校の出口など）が何かあれば、それを1つでも追加できればさらに良くなる。

令和4年度学校経営計画 承認

2. 教科書選定について（首席）

1年→新カリキュラムで 2・3年→旧カリキュラムで

教科書選定 承認

【その他】

1. スクールミッション作成について

（校長）

*令和3年度中央教育審議会、3月末、法令改正を受けて、令和6年度までにスクールミッション、スクールポリシー作成

*今年度：スクールミッション作成

各校の存在意義、社会的役割、目指す学校像を定義（再定義）する
学校に関わる全てのものがこれを共有する

どのような生徒を育てて欲しいか、ご意見を

○社会に出てから、経済的に、精神的に自立した人間になることが重要

- ・学校にいる時から、進路に関係なく、経済的に、精神的に自立することが重要
- ・自分が自立することで、人を助けることができるようになる

○最近の卒業生の共通点…物凄く素直で良い子だが、物凄く受け身、依存心が強い

⇒彼らに対しては

- ・自分の価値観（フィルター）を作らせることが大切
- ・自分の価値観ができてくると、自分の意見が持てるようになる、発信できるような子になる。
- ・全部受け止めるのではなく、選別できるようになる。

- ・リテラシーよりコンピテンシーが低い生徒が多い
社会にでるにはコンピテンシーが強い子の方が通用する

○自立・創造・仲間をキーワードに

- ・失敗から学ぶことができる生徒、
- ・対話から新しい価値観をつくることのできる生徒

○日本の教育は職業教育が念頭にない。プロを育てる時期が遅い。

- ・大学での学びと関係ない仕事に就職することがほとんど
- ・工業高校を出た生徒はなじみが早く、理解力高く、次の行動がわかる
- ・仕事に関係ない分野を出た学生、ずっと待っている（受け身）

○想定外の事が起こったとき、それらに対応していく能力を育てることが必要

- ⇒対応の仕方よりも、何ために働くのか？を考えさせるべき
→モチベーションにつながる

○現代は情報量が多いが、それを見極める選択力、判断力が弱い

- ・多くの人と関わるなかで、人間関係つくることが一番重要

○ITは使えるが、会話ができない者が多い。

- ・そういった能力を高めることが学校、PTAでできればいい。

○同窓会でもそのようなパイプ作りができればいい。

○時代と逆行するが、人脈作りが特徴となる、重要となる

○どこかと繋がる自分を探してほしい

- ・多くの人と接することで、自分を知る、強み・弱みを知る、
- ・強みを活かすこと、弱みの部分を助けてくれる人を探すことが大切。

第2回学校運営協議会予定

次回：11月29日（火曜日）14：00～